【徳島ヴォルティス】2024Jリーグ新人研修　クラブ運営サポート活動レポート
青木 駿人、髙田 優

2024 年 3 月 20 日（水）、鳴門大塚スポーツパークポカリスエットスタジアムにて行われた、明治安田J2リーグ第 5 節レノファ山口FC戦にて、青木 駿人 選手と髙田 優 選手が、スタジアム研修のクラブ運営サポート活動を行いました。

ホームゲームがどのように運営されているかを知り、実際に体験することで、J リーグ選手としての自覚と責任を持つことを目的に行いました。

まず初めに、事業担当者から、徳島ヴォルティスのホームゲームがどのように準備されているか、どれくらいの人がどのような業務をして関わっているかの説明を受けました。

その後は実際に入場ゲートに立って、お客様をお迎えしました。チケットチェックとサンプリングの配布を担当し、ボランティアのサポートスタッフから教えてもらいながら電子チケットの読み取りなどをおこないました。グッズ売店での業務やチケット販売業務、そしてスポンサーエリアでの挨拶などもおこない、約 1 時間半の試合前の活動を終えました。
試合終了後には、クラブスタッフ、アルバイトの方々とピッチ内の LED 看板の撤収作業をおこないました。

最後に、サポートスタッフの皆さんへ挨拶をおこない、日々の支えへの感謝の気持ちと改めてこれからの決意をお伝えしました。多くの方のサポートがあることだけでなく、多くのファン・サポーターの皆さんが期待してスタジアムに集まってくれていることを肌で実感しました。スタジアム研修を通して、プロサッカー選手としての責任を感じるいい機会になったと思います。

◎選手のコメント
青木 駿人 選手
Jリーグの試合 1 つを行うにあたって、クラブの関係者をはじめ、地域の方々や学生たちもボランティアとして運営をサポートしてくれていて、多くの人に支えられて試合ができていることを改めて実感した。目に見えない裏の部分でサポートしてくれている人がいること、その方たちへの感謝の気持ちを常に持ち続け、プレーで、結果で恩返ししたいと強く感じた。

髙田 優 選手
まず、1 試合をするにあたり、これだけのサポートスタッフが関わっていることに驚いた。そして、老若男女の人がサポートしてくれていた。どの業務であっても簡単ではなく、どれも大変だった。特に

看板などの撤収作業を毎試合してくれていると知り、本当に選手はプレーするだけなんだと実感しました。

写真提供／徳島ヴォルティス

【徳島ヴォルティス】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
青木 駿人、髙田 優

2024 年 8 月 12 日（月）、徳島市・紺屋町演舞場で、青木 駿人 選手、髙田 優 選手が、THE・AWAODORI2024 のシャレン！活動を行いました。

① 地域・社会課題：
コロナの蔓延による地域の盛り上がりの希薄化

② 協働者： 徳島市/新のんき連/明治安田生命/徳島ヴォルティス

③ 活動概要や内容、目的
阿波踊りは徳島の夏を代表するイベントの一つです。しかしながら、コロナウイルスの蔓延により、2 年の開催中止や規模の縮小が行われてきました。クラブとしても感染拡大防止のために直近 4 年間は参加を自粛する方針をとってきましたが、5 年ぶりに阿波踊りへ参加することができました。2019 年までは徳島ヴォルティス単独で参加していた徳島市の阿波踊りですが、Jリーグと明治安田生命がパートナーとなって 10 年となる節目の年に、阿波踊りでもパートナーとなりました。お囃子には新のんき連の皆様にご協力いただき、3 連合同での参加となりました。
活動の前日はJ2リーグ第 26 節 Away 山形戦でした。台風の接近による飛行機の欠航が重なり、徳島空港から直接会場に向かうというハプニングもありましたが、徳島の夏を県民の皆様とともに盛り上げることができました。徳島ヴォルティスに加入する前は徳島に縁もゆかりもなかった青木選手と髙田選手ですが、地域の伝統に触れることで地域への愛着が深まったようです。今後も地域とのつながりを大切に活動をしていきたいと考えています。

◎選手のコメント
青木 駿人 選手
初めて阿波踊りに参加させていただき、規模感や盛大さに圧倒され、これが徳島の伝統である阿波踊りなんだと感銘を受けました。実際に連に入り躍らせてもらったことで、阿波踊りの楽しさや迫力を肌で実感することができ、とても素晴らしい経験になりました。また、参加するにあたって明治安田をはじめとするたくさんの方々が協力して下さり、街の人たちからも多くの声援をいただき、たくさんの方々に応援されていることを改めて実感しました。支えてくれている人たちや、応援してくれている方々に、結果やプレーで恩返しをしていきたいと強く思いました。

髙田 優 選手
まず、自チームと地域の強い結びつきに驚きました。そして、その重要さに改めて気づきました。この活動の中で本当に多くの人がヴォルティスを応援してくれていることがわかり、また僕たちがこういう活動をすることにより多くの人を巻き込んで地域を盛り上げることができることを知りました。

写真提供／徳島ヴォルティス